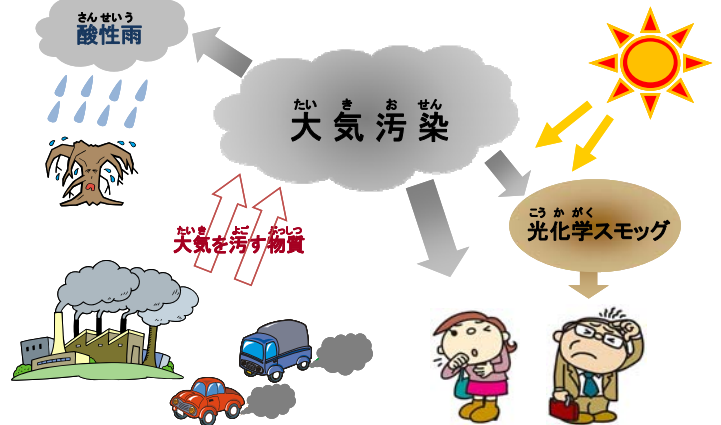


## (1) 大気汚染、水質汚濁について

## 大気汚染ってなに？

工場の煙や自動車の排気ガスが増えることで空気が汚れることを大気汚染といいます。

工場の煙や自動車の排気ガスなどには、窒素酸化物（二酸化窒素など）や硫黄酸化物（二酸化硫黄など）などの大気を汚す物質が含まれていて、これが大気汚染の原因となっています。



## 大気汚染が進むとどうなる？

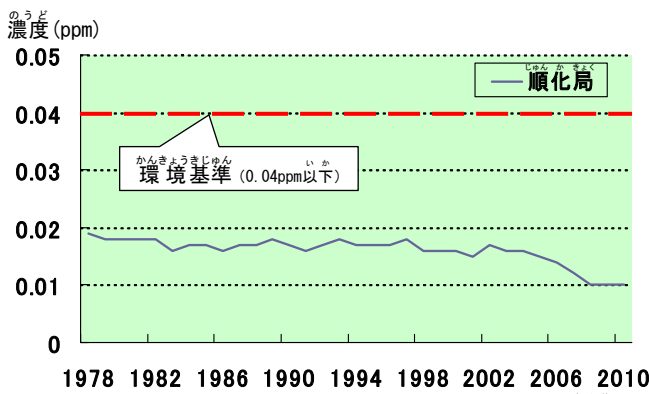
大気汚染が進むと、私たちは汚れた空気を吸いつづけることになり、のどや肺をいためます。

大気汚染が進み、大気を汚す物質が増えることは、植物を枯らしてしまう酸性雨の原因になります。そして太陽の光をうけて、光化学スモッグというものをつくる原因にもなります。光化学スモッグが発生すると、目がチカチカしたり、頭がいたくなったりします。

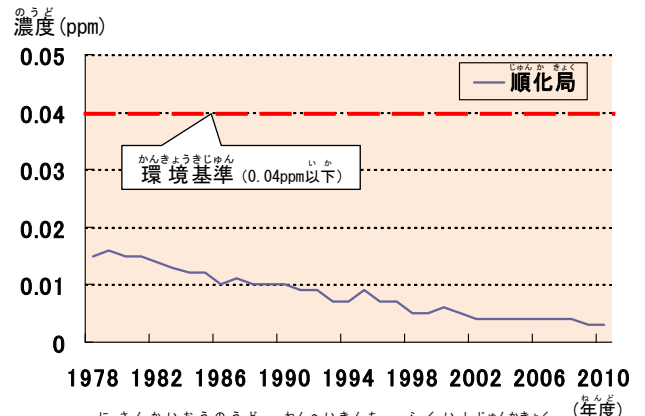
## 今、福井はどうなっているの？

福井市では、1970年から大気を汚す物質を測定して、まちの大気の状態をチェックしています。2010年度の二酸化窒素や二酸化硫黄の測定結果は、環境基準\*よりもきれいな状態となっています。

ppmとは、濃度を表す単位で、100万分の1の意味です。  
例えば1ppmは、1m<sup>3</sup>の空気に、1cm<sup>3</sup>の汚染物質が含まれていることを表しています。



【二酸化窒素濃度の年平均値（福井市順化局）】



【二酸化硫黄濃度の年平均値（福井市順化局）】

出典 福井市環境課

\*環境基準とは？ 人の健康や環境をよい状態に保つため、守ることが望ましいと法律で決められたものです

## 水質汚濁ってなに？

汚れた水が川に流れ、川や海、湖などの水質が汚れることを水質汚濁といいます。

川などは、もともと自分で汚れをきれいにする力を持っています。しかし、その力をこえる量の汚れた水が工場や家などから流されることが原因で、水質汚濁が起きてしまいます。

そのため、下水処理場や浄化槽などで水をきれいにするので、汚れた水がそのまま川に流れてしまうのを防いでいます。



## 水質汚濁が進むとどうなる？

水質汚濁が進むと、川や海、湖の環境が悪くなって、藻やプランクトンが大発生します。そこから赤潮やアオコが発生したり、水の中の酸素がなくなることで、魚や貝が死んでしまったりします。

汚れた水を飲んだり、藻やプランクトンの出す毒が原因で汚れてしまった魚や貝を食べたりすると、人間も病気になってしまいます。



赤潮の発生  
(愛知県蒲郡港)

出典 海上保安庁

## 台所から出た汚れを川や海に流すと……

汚れを水ですめて魚がすめる状態にもどすには、こんなにたくさんの水が必要になります。

汚れのもと	魚がすめる水質にするには	汚れのもと	魚がすめる水質にするには
マヨネーズ (大さじ1杯)	お風呂(300L) ×13杯	天ぷら油 (20ml)	お風呂(300L) ×20杯
牛乳 (コップ1杯)	お風呂(300L) ×11杯	みそ汁 (おわん1杯)	お風呂(300L) ×5杯

## 今、福井はどうなっているの？

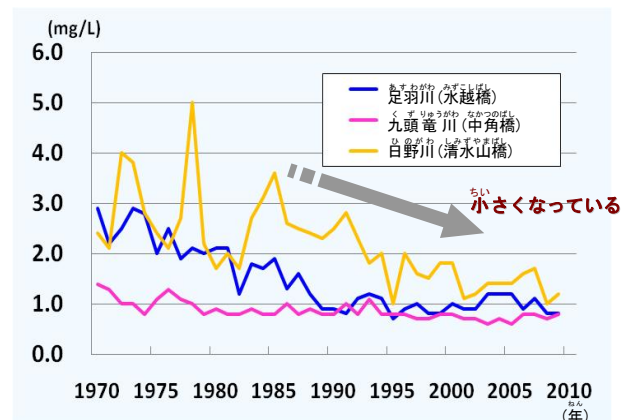
福井市では、川や海などの水質を測定して、水の汚れ具合をチェックしています。

2010年度のBOD※を測定した結果、環境基準よりもきれいな状態となっています。昔にくらべて、今はきれいな結果が出ていて、川や海などの水質はよくなっているといえます。

### ※ BODとは？

水中の微生物が使う酸素の量で、川の汚れ具合を測るときに使われます

BODが大きいほど川が汚れているといえます



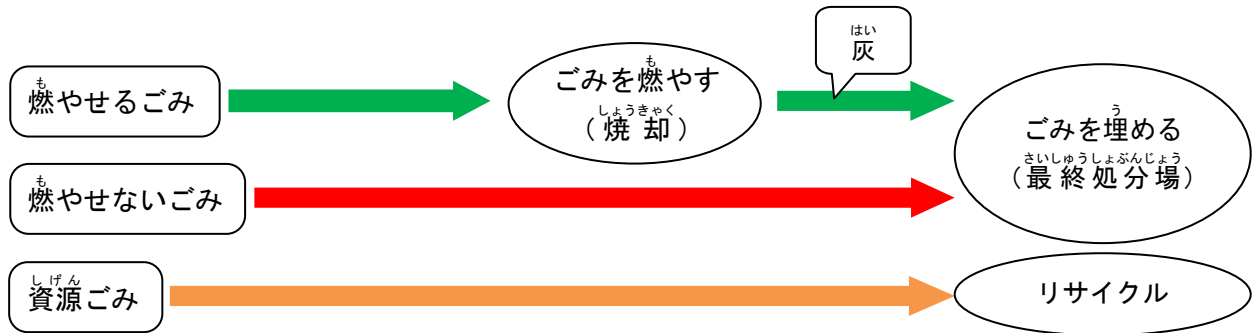
【福井市内にある河川のBODの変化】

出典 福井市企業局

## （2）<sup>もんだい</sup>ごみ問題について

### 捨てられたごみはどうなる？

わたしたちは、くらしが豊かになるにつれて、たくさんのエネルギーや資源を使ってものを作り、たくさんのごみを出してきました。出されたごみは、びんや缶などは資源として有効利用され、その他は燃やしたり、ごみを埋める場所（最終処分場）で埋めたりしています。



### <sup>もんだい</sup>ごみ問題ってなに？

#### その1) <sup>う</sup>ごみを埋める場所（<sup>さいしゅうしょぶんじょう</sup>最終処分場）の問題

ごみを燃やした後の灰や燃やせないごみは、ごみを埋める場所（最終処分場）に埋められます。日本中で1年間に埋められるごみの量は約2,500万トンもあり、今のままでは約19年で最終処分場がいっぱいになってしまいます。

#### その2) <sup>ち</sup>ごみを燃やす施設（<sup>しょうきやくせつ</sup>焼却施設）の問題

プラスチックごみなどを燃やすとダイオキシンなどの人体に悪い物質が出てきます。このような物質が出ないようにするために、ごみを燃やす施設を工夫しなければいけません。また、プラスチックごみなどを外で燃やさないように注意することが大切です。

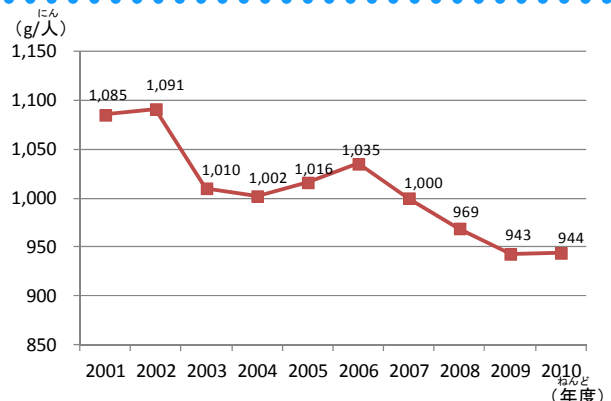
#### その3) <sup>か</sup>ごみを勝手に捨てること（<sup>ふほうとうき</sup>不法投棄）の問題

ごみを捨ててはいけない場所に捨てることは法律で禁止されています。しかし中には、このまわりを守らずにごみを捨てる人がいます。勝手に捨てられたごみを処分するには、たくさんの税金が使われています。

### ふくい福井では？

#### ○福井市の一人が出すごみの量は？

福井市に住む人一人が1日に出すごみの量は2010年度で944gでした。このごみの量は昔に比べると減ってきており、2001年度と2010年度を比べてみると、約1割減っています。



【一人が1日に出すごみの量】

出典：福井市

### (3) 悪臭、騒音・振動、土壌汚染、地盤沈下について

#### 悪臭ってなに？

わたしたちの周りにはいろいろなにおいがあります。においには、ある人には良いと感じても、他の人にはいやだと感じるものがあり、人それぞれ感じ方が違います。それらの中で、いやだと感じるにおいのことを悪臭といいます。

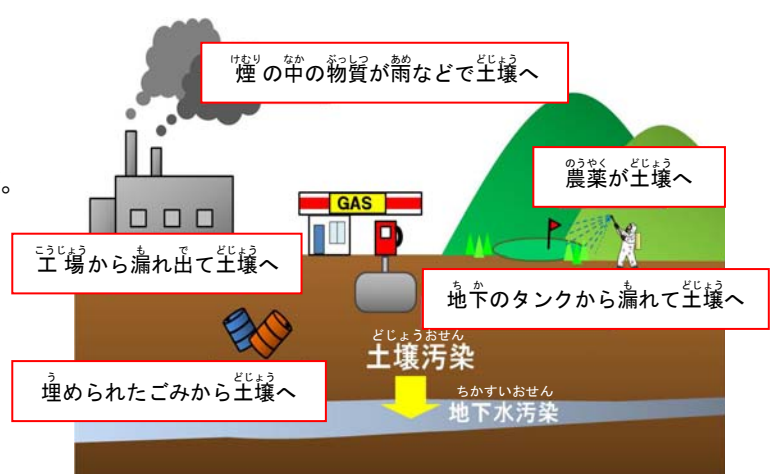
#### 騒音・振動ってなに？

会話ができない、眠れないなど、人にいやだと感じさせる音のことを騒音といいます。また、同じように人にいやだと感じさせるゆれのことを振動といいます。



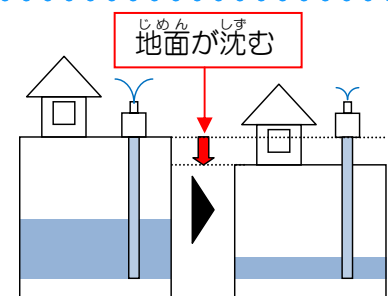
#### 土壌汚染ってなに？

油や重金属などで土壌が汚れることを土壌汚染といいます。土壌汚染は、人間が生き物に有害な物質をきちんと管理していないため、土壌にもれてしまうことが原因です。土壌が汚れると、そこで生活している人が病気になったり、まわりの地下水が汚れて川や海の魚などに汚染が広がることもあります。



#### 地盤沈下ってなに？

地面が少しずつ沈んでいくことを地盤沈下といいます。地盤沈下が原因で道路や建物ががたむいたり、水道の管がこわれたりすることもあります。地盤沈下は、地下水をくみ上げすぎることなどが原因で起こるといわれています。

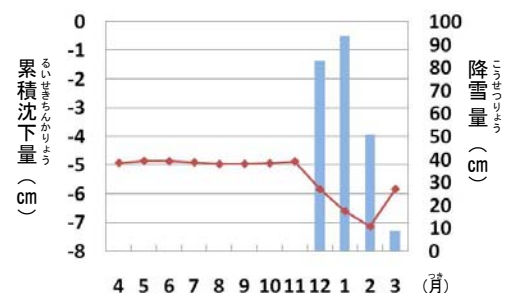


#### 福井市では？

福井市では、12月から2月にかけて地盤が沈下することがあります。これは、つもった雪をとかすために地下水をたくさんくみ上げるからです。



2月から3月にかけて地下水の量が元に戻ってきても、沈む量のほうが大きいので、毎年少しずつ地盤沈下が進むのじゃ！



【地盤沈下の月別変化 (2010年度 木田地区の井戸)】

出典 福井市